

10-3 中学校 3年生社会科[公民的分野] 指導事例 「地域のゴミ処理について考えよう」(地方自治)

【単元目標】

- ・ 地域社会における住民の福祉は、住民の自発的努力によって実現するものであり、住民参加による住民自治に基づくものであることを理解する。
- ・ 地域のゴミ処理という課題から、ゴミを出す住民の立場だけでなく、ゴミ処理場近隣の住民や、企業、そして行政など、様々な立場の意見を検討し、地域に関わる人々がよりよい地域をつくっていくにはどうしたらよいかについて自分の考えをもつ。

【目指す子どもの姿】

学習課題の解決に向け、調べたことを根拠にしながら自分の考えをつくり、他者との話し合いにより、自分の思いを表現し、社会に参画していこうとする姿。

1 本単元の流れと「政治的教養を育む学びのプロセス」との関係

学 習 活 動 (全7時間)	ポイントになる学びのプロセス
<p>地域のゴミはどれくらいあるのだろうか①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のゴミ処理について知る。 <p>S:家庭のゴミはお金を払って処理しているが、地域のゴミについてはどのようなになっているのだろうか。</p> <p>S:市町村によってお金を払わない地域もある。</p> <p>S:観光客はたくさんゴミを出すけど、その費用は地域の人が負担しているの？</p>	<p>ポイント1</p> <p>関心をもつ</p>
<p>地域のゴミ処理について、どのような課題があるのか知ろう①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミ処理の現状から課題を見つける。 <p>S:観光客の人のポイ捨てゴミの処理が大変らしい。特に夏場の海岸では、大量のゴミで住民が迷惑している。</p> <p>S:海外から来る人に、ゴミ捨てのルールを伝えるにはどうすればよいか。</p> <p>S:市内にあるゴミ処理場の許容量は大丈夫なのだろうか。</p>	<p>ポイント2</p> <p>自分の考えを構築する</p>
<p>地域のゴミ処理の課題を解決していくための策を考えよう②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミ処理の課題を解決していくための策を話し合う。 <p>S:観光客も含めて、ゴミを捨てる人全員に負担させるべきだ。</p> <p>S:ゴミのポイ捨てなどには厳しいルールが必要だと思う。</p> <p>S:あまり厳しい条例をつくると観光客が来なくなり、景気が悪くなる。</p> <p>S:周辺の市町村の様子を参考にしないといけないのではないかな？</p>	<p>ポイント3</p> <p>自分の考えを主張する</p>
<p>地域の政治に積極的に関わるにはどうすればよいか考えよう③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の政治へ参加する方法を知る。 <p>S:自分たちでルールをつくったりすることもできる。</p> <p>S:まずは身近なことに関心をもって調べてみるのが大切だ。</p>	

2 政治的教養の育成につながるポイント

ポイント1

地域の情報を積極的に活用しましょう。

地方自治の学習では、地域の情報に関心をもたせることが大切です。授業のはじめに1分間スピーチタイムを設定し、新聞の地域面や公共機関が発行している出版物、小学校で配付された副教材などから、自分が興味をもったことを話す場面の設定があると、授業の展開がスムーズになります。

ポイント2

生徒の意見を視覚化して、自分の考えをまとめさせましょう。

生徒の意見が多く出たときには、生徒に分かりやすく視覚化して板書するとよいでしょう。思考ツールを使ったり、構造化して板書したりする工夫をして、生徒が授業内での思考の過程を追っていけるようにしましょう。



【ベン図】

課題に対する賛成意見や反対意見、そして共通点を分かりやすくしている。



【ランキング】

根拠を明確にさせるねらいから、課題解決の方法を順位付けする。

ポイント3

根拠や理由を明確にさせましょう。

生徒が自分の考えを他者に伝える時には、根拠や理由を明確にして伝えるように助言しましょう。特に現実社会における社会的な諸問題について、事実認識が薄いままの発言は、生徒の思いつきの意見や、非現実的な意見、ひとりよがりの意見であることが多くなりがちです。

そこで、発言する際には、各種データを活用して根拠を明確にすること、他者の発言を受けて自分の考えを発言することなど、より深い学びが得られるような工夫が必要です。